

平成26年11月28日

ハウステンボス株式会社 第25期（平成26年9月期）単独決算について

当社の第25期（平成26年9月期：平成25年10月—平成26年9月）における単独決算は下記の通りとなりました。

（1）営業概況

前期に引き続き場内魅力とお客様満足度の向上を企図したイベントの実施に注力しました。主な取り組みとして昨年11月2日に開幕した「光の王国」（本年4月6日まで開催）については2010年の700万球からスタートし、以降820万球、1000万球、そして当期は1000万球超と規模を拡大しながら開催を重ねてきました。ハウステンボスでしか体験できない圧倒的なイルミネーションに対するお客様のご期待とご評価も高まりを見せており、入場者数の増加に大きく貢献しています。加えて当期は国内最多650品種を取り揃えた「チューリップ祭」を2月15日にスタートさせたことで上記「光の王国」との相乗効果を生み、日中から夜まで充実したコンテンツの中でお客様にお過ごしいただける状況となりました。4月には「花の王国」連動企画として「花の大祭典」や「芝桜展開」を、4月12日には「日本一 音楽花火大会」をそれぞれ初開催。新たな取り組みにより消費税増税に伴う影響を大きく受けることなく業績向上の達成に寄与する企画となりました。5月から6月にかけても「初夏の光の王国」、「100万本のバラ祭」、「あじさい祭」と引き続きハウステンボスならではの光と花の世界をご来場のお客様にご堪能いただき高いご評価をいただきました。7月は夏休み期間のファミリー層のお客様をターゲットとした「ゲームの王国」と「水の王国」をスタートさせた他、アドベンチャーパークの「ふわふわランド」をリニューアルオープンさせるなど家族で楽しめるコンテンツをラインナップ。8月は台風や多雨に見舞われたものの夏期間を通じて前年実績を超える集客効果を生みました。そして9月には前年の好評を受け第2回目となる「九州一花火大会」を開催し多くのお客様に感動いただきました。また場外初のイベント展開となる「大阪城3D マッピング スーパーイルミネーション」（期間：2013年12月14日—2014年2月16日）を大阪城西の丸庭園にて開催。天守閣に投影された3Dプロジェクションマッピング庭園一帯に広がるイルミネーションが全国的に話題を呼び期間目標入場者数50万人を超える59万人のお客様にご来場いただくなど大きな成果を挙げました。結果、当期の入場者数は前年同期比112.8%の2,794千人。売上高は同121.4%の26,255百万円。コストの最適化と業務効率の向上により販売費および一般管理費を同113.9%129億53百万円と売上高の伸びに比して抑制したことにより営業利益は同151.9%の7,364百万円、佐世保市からのハウステンボス再生支援交付金731百万円を加味した経常利益は同145.2%の83億25百万円、繰越欠損金の解消による法人税等の増加により当期純利益は同97.1%の52億4百万円となりました。

(2) 第26期(平成27年9月期:平成26年10月—平成27年9月)業績見通し

経営権を継承した第21期以降、ご来場のお客様に対し、ご期待を超える感動を提供すべくチューリップや芝桜、バラ、あじさい等を中心とした「花の王国」、世界最大級のイルミネーション「光の王国」、ハウステンボス歌劇団やホテル、アムステルダム広場等で展開する「音楽とショーの王国」、ゲームの過去、現在、そして未来を体感いただく「ゲームの王国」を展開して参りました。今期においてはこれらをさらに進化させ、オンリーワン・ナンバーワン戦略を推し進めて参ります。加えて今期よりお客様の健康をテーマに「健康の王国」を新たに立ち上げ、老若男女問わず健康に関心をお持ちのお客様ニーズにお応えする展開を開始する予定です。

また今期においては世界最高水準の生産性の高いホテル「スマートホテル」の第1期72室を来年7月に開業させご宿泊のお客様に最先端技術により創りだされた快適な宿泊空間をご体感いただきます。これによりピーク期に発生している宿泊キャパシティの不足感緩和も図って参ります。

営業面においてもイベントに連動した営業活動および広告宣伝展開の増強を図っていくとともに、前期に引き続きハウステンボスのコンベンション機能を前面に立てたMICE需要の獲得を企図した団体営業の強化を図り、ON期OFF期に左右されない入場者数の安定化に努めて参る所存です。

加えて観光ビジネス都市の実現に向けて上記スマートホテルの建設・運営や太陽光等の発電事業、サービスロボットの開発等、テーマパーク事業以外の分野における新たなチャレンジも引き続き実行して参ります。

これらの取り組みにより第26期においては入場者数321万人、宿泊者数34万人、売上高(取扱高)315億円、営業利益101億円、経常利益104億円を見込んでいます。

記

(1) 第25期 年度業績について

- ・ 入場者数 2,794千人 (前年同期比 112.8% 316千人増)
内 海外客数 219千人 (前年同期比 119.4% 35千人増)
- ・ 宿泊者数 305千人 (前年同期比 110.2% 28千人増)

■ 収支概要について

(単位:百万円)

	前期 2012.10月— 2013.9月	当期 2013.10月— 2014.9月	前年同期比	前期差
売上高(取扱高)	21,629	26,255	121.4%	4,625
売上原価	5,414	5,938	109.7%	523
売上総利益	16,214	20,316	125.3%	4,102
販売費及び一般管理費	11,366	12,952	113.9%	1,585
営業利益	4,848	7,364	151.9%	2,516
経常利益	5,730	8,325	145.2%	2,594
当期純利益	5,358	5,204	97.1%	▲154

注記1:営業外収入に、前期744百万円、当期731百万円の佐世保市からの再生支援交付金を計上しております。

注記2:繰越欠損金の解消により法人税等が増額しております。
(前期359百万円 当期3,058百万円)

■財産状況について

(単位:百万円)

		2013.9 月末	2014.9 月末			2013.9 月末	2014.9 月末
	流動資産	14,547	18,726		流動負債	2,830	5,685
	固定資産	7,441	11,157		固定負債	3,288	3,136
	繰延資産	0	0		純資産	15,870	21,062
資産合計		21,988	29,883	負債・純資産合計		21,988	29,883

注記:万円以下は切り捨てにて表示

(2)第26期(平成26年10月～平成27年9月)通期見込数値について

- ・ 入場者数 321万人 (前期比 115%)
- ・ 宿泊者数 34万人 (前期比 114%)
- ・ 売上高(取扱高) 315億円 (前期比 120%)
- ・ 営業利益 101億円 (前期比 138%)
- ・ 経常利益 104億円 (前期比 125%)

以上

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
 ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子
 TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>